



環 評 審 第 1 4 号  
平 成 2 8 年 9 月 9 日

沖 縄 県 知 事  
翁 長 雄 志 殿

沖 縄 県 環 境 影 響 評 価 審 査 会  
会 長 宮 城 邦 治



伊 良 部 大 橋 橋 梁 整 備 事 業 に 係 る 事 後 調 査 報 告 書 の 審 査 に つ い て ( 答 申 )

平 成 2 8 年 6 月 2 1 日 付 け 沖 縄 県 諮 問 環 第 2 号 で 諮 問 の あ っ た み だ し の こ と に つ い て、 別 添 の と お り 答 申 し ま す。

## 伊良部大橋橋梁整備事業に係る事後調査報告書に対する答申

### 1 海域地形について

平成27年度の調査結果に関して、長山の浜の取付橋梁部付近の汀線が季節的に変化し、安定しない状態となっている。取付橋梁部付近の季節的な汀線の変化と汀線の変化量について、原因を事後解析等により究明させ、新たな環境保全措置の必要性について検討させること。また事後解析等により究明した上記の原因と新たな環境保全措置の必要性の検討結果について、次年度提出の事後調査報告書に記載させること。

### 2 陸上動物について

#### (1) ロードキルの発生について

平成27年度の調査結果は、環境影響評価時に予測されていなかったミヤコヒキガエルのロードキルが多い結果となった。事業者は、環境保全措置として自主的に進入防止柵の延長を行ったところであるが、ミヤコヒキガエルは「宮古島市自然環境保全条例」で指定される保全種であることから、ミヤコヒキガエルのロードキルを防ぐため道路利用者に対して、看板設置等により注意喚起を行わせること。

#### (2) 進入防止柵の設置等について

平成28年6月27日に実施した本審査会の現地調査の際に（以下「現地調査」という。）、ボックスカルバート呑口側誘導路の一部からオカヤドカリ類・オカガニ類が取付道路へ進入出来る箇所が確認され、ロードキルの発生が懸念された。進入防止柵設置の効果が適切に発揮されるように、ボックスカルバート呑口側誘導路の一部に進入防止柵の設置等を実施し、実施の結果を次年度提出の事後調査報告書に記載させること。

#### (3) 進入防止柵付近の維持管理について

現地調査の際に、進入防止柵付近の植物が繁茂し、オカヤドカリ類・オカガニ類が植物をつたって取付道路に入り、進入防止柵の機能が損なわれることが懸念された。進入防止柵設置の効果が適切に発揮されるよう進入防止柵付近の植物の刈り取りを行う等の適切な維持管理の実施に努めさせること。

### 3 ウミガメ類の産卵場としての海岸管理について

現地調査の際に、長山の浜の南側に遊泳用ビーチネットの設置と自動車等の侵入跡を確認した。過去に当該砂浜は、工事の影響と考えられる砂浜の減少に対し、突堤を整備しサンドリサイクルを行い、ウミガメ類の産卵場確保のために整備を行っている。そのような経緯を踏まえると、ウミガメ類の砂浜への上陸を妨げる遊泳用ビーチネットの設置や砂浜を締め固める自動車等の侵入は好ましいものではない。事業者には、ウミガメ類の産卵場に配慮した海岸管理に努めるよう海岸管理者と協議を行わせること。

### 4 平成28年度事後調査計画について

海藻草類や底生生物の調査項目について、平成28年度も継続して調査を行うとしているが、これらの調査結果を評価する際には、底質の変化も把握する必要があることから、平成28年度の調査計画に底質を追加させ、底質の調査を実施させること。

## 5 植物について

### (1) 宮古島側法面植栽について

現地調査の際に、宮古島側橋詰め広場付近の法面及び道路路線上の法面では、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」において緊急対策外来種に指定されているアメリカハマグルマを確認した。事業者においては、環境保全措置としてアメリカハマグルマの駆除を継続して実施しており、当該種の生育範囲は減少しているところであるが、継続して駆除に取り組むよう努めさせること。

### (2) 伊良部島側取付橋梁部における海岸林の復旧について

現地調査の際に、伊良部島側取付橋梁部において、平成27年度に取付橋梁部護岸を補強し、背後地に海岸林を復旧した状況を確認した。現在の状態では護岸コンクリートの天端が露出し、オカヤドカリ類の陸海間の往来や、強風時に砂の飛散により海岸林の生育に影響を与えることが懸念された。護岸背後地にグンバイヒルガオ等の植栽を行うことで、陸海間のオカヤドカリ類の往来を促し、砂の飛散防止にも効果を発揮すると考えられることから、グンバイヒルガオ等の植栽を実施させること。

また事業者は、平成27年度末に海岸林の復旧を行ったところであるが、海岸林の再生という考えから、オオハマボウの背後にハスノハギリの植栽を追加させることが望ましい。植栽に使用するハスノハギリは、宮古島島内産を使用させ、海岸植生の経過観察についても事後調査報告書に記載させること。